

サムヌア郡・クアン郡

報告期間	2024 年 1 月 ~10 月
実施地域	ラオス人民民主共和国 フアパン県内 2 郡：サムヌア郡、クアン郡
事業概要	フアパン県内のサムヌア郡、クアン郡における女性と5歳未満児の健康向上事業の実施。ラオスの保健関係者が“自分事”としてオーナーシップを持ちながら健康向上事業を実施できるよう促す。
期待される成果	● 保健医療従事者の*基本母子医療保健を提供できるための技術・能力が向上する。 ● 村落住民が、母子保健に関する正しい知識を身につけ、自分の健康を守るようになる。 ● 母子健康継続のための村落と医療保健施設の連携体制を強化。 ● 現地保健のステークホルダーの連携が促進する。 ● 各保健医療機関・行政が、迅速かつ正確に母子保健データを収集し報告を行い、その情報が母子保健の成果を向上させるために利用する。
活動内容	ラオス山岳僻地に住む女性と子供の母子保健サービスの利用を促進するため、住民側の健康促進活動、保健医療従事者側の能力・技術強化と両者に働きかけることで母子保健向上を目指す。プライマリヘルスケアアプローチを通し、現地の人々の手で健康を守っていけるよう事業を行う。 ● 保健医療従事者の母子保健技術を高める研修・モニタリングを実施 ● 保健医療従事者がアウトリーチ活動を定期的に行うための技術的・伴走的なサポート ● 村落健康啓発員と住民のリーダーの育成や保健教育のやり方を学ぶ研修 ● 住民が保健予防の知識を得る健康促進活動のサポート ● 保健医療行政が計画・データに基づき、母子保健の活動が進んでいるかモニタリングできるよう研修・サポート

「保健医療従事者の基本母子医療保健を提供できるための技術・能力が向上する」ための活動

- 医療従事者へ経膈分娩や緊急産科新生児ケアに関する現任訓練。
- 医療施設を定期的に訪問し、5歳未満児の主な病気の診療、経膈分娩や緊急産科新生児ケア、妊産婦検診、産後検診のモニタリング・指導。
- 病院や保健行政の年 4 回のワクチンアウトリーチをモニタリング・指導。



写真／妊産婦検診が正しく行われているかモニタリング(サムヌア郡ノンカン小病院)

成果

●病院や保健行政の医療スタッフ30名が、経膈分娩や緊急産科新生児ケアに関する現任訓練を受け続けている。これらの保健医療施設に対する最新の2024年の監督では、88.5%の出産が適切な分娩・分娩の手順に則って行われた。

●子どもの肺炎と下痢(5歳未満児の最も高い死因)の適切な診療をできているか確認・指導する監督を定期的に行った結果、クアン郡の医療施設は2024年を通して97~100%で安定していた。しかし、ザムヌア郡の医療施設は平均79.5%であり、改善が必要とする。

●2024年の3回目のワクチンアウトリーチでは30村中23村は郡保健局・小病院から訪問日時およびワクチン接種が必要な子供のリストの事前連絡を受け、その結果、ワクチン接種が必要な1歳未満児の約74%がワクチン接種を受けた。

写真／緊急産科新生児ケア用に必要な薬が揃っているか薬局を確認 (クアン郡パデー小病院)



「村落住民が、母子保健に関する正しい知識を身につけ、自分の健康を守れるようにする」ための活動

●村落保健推進委員会の保健教育活動のモニタリング・指導。

●村落保健推進委員会とともに社会的弱者の家庭(貧困家庭、若い母親家庭)や母子保健サービスをためらっている・拒否する家庭を個別訪問し、相談および保健教育を行えるようサポート。

写真／村落保健推進委員会メンバーの二人が村人に健康教育を行っている (クアン郡フアイブイ村)



成果

●2023年に研修を受けた村落保健推進委員会メンバーは2024年にサムヌア郡では約972村人に、クアン郡では838村人に保健教育を行った。

●1歳未満児のワクチン接種率が最も低かったサムヌア郡の5村を対象とした標的介入後、ワクチン接種を受けた1歳未満児の数は、2023年の50.87%から2024年には90.4%に増加した。



写真／若い妊産婦の家庭を訪問し、保健教育を行っている (サムヌア郡プーラング村)

「現地保健のステークホルダーの連携が促進する」ための活動

- WHOと共同で各村にて、村落住民、政府機関、医療従事者を集めて、共に関係やガバナンスを改善し、村落のマッピングし、村落の解決策を開発し、保健政策・計画や取り組みに関する地域関係者のオーナーシップと関与を強化するアプローチを実施。
- 医療機関と政府機関を含む「郡母子保健関係者調整委員会」を3カ月に一回に開催することで、ステークホルダー間での母子保健課題や活動のコミュニケーション・フィードバックと連携を日課することができた。

成果

- 村落の母子保健課題に対し、医療機関や県・郡保健局は関係政府機関から協力を得られる事ができた。ワクチン接種率が低い村に対しては県・郡法務局が同行し、児童の健康の保護に関する法律の観点から村人へ説得してもらったり、若い母親が多い村に対しては県・郡教育局に協力してもらい性の健康や家族計画を教育課程に含む可能性を図った。

「各保健医療機関・行政が、迅速かつ正確に母子保健データを収集し報告を行い、その情報が母子保健の成果を向上させるために利用する」ための活動

- 定期的村落から小病院、小病院から郡保健局、郡保健局から県保健局へ上がってくる母子保健データのモニタリングを行い、データーに基づき行政の母子保健活動計画作成をサポート。

成果

- クアン郡の対象村落から小病院へ新生児および新たな妊産婦の連絡は最低年4回行われた。同郡の月1回小病院から郡保健局、郡保健局から県保健局へ上がってきた母子保健データーのうち、79%%同内容が反映されていた。
- 郡保健局内のベースラインデーターを確認・サポートを行った事で、このベースラインデーターをもとに作成された2024年の母子保健指標および郡保健局行動計画がより現実に基づき、実現可能な物になった。

報告期間	2024 年 10 月～ 12 月
実施地域	ラオス人民民主共和国 フアパン県内 2 郡：サムヌア郡、クアン郡
事業概要	活動地のサムヌア郡とクアン郡で女性と子供が母子保健サービスの利用を促すため、ワクチン接種のアウトリーチ活動の成果を拡大した「総合的母子保健アウトリーチ」※と母子保健課題が多く残っている医療機関・村に対する集中的アプローチのパイロット活動を行う。 ※総合的母子保健アウトリーチ：保健教育、家族計画、妊産婦検診、産後検診、小児科健診等を定期的に行われているワクチン接種のアウトリーチ(医療従事者がアクセスが困難な人々が住む村落へ訪問しワクチン接種を受けることに抵抗がある人々に対して、積極的にワクチン接種を働きかける活動) に含む母子保健サービス。

同活動地で成果・課題に基づいた、女性と子供が母子保健サービスの利用を促すためのパイロット活動

- クアン郡の医療機関や保健行政のスタッフへ総合的母子保健アウトリーチの訓練、及び少数の村で実施。
- 施設内分娩、ワクチン接種、妊婦健診等の母子保健課題が多く残っている村(母子保健指標ターゲットを満たしていない村)や医療機関の集中的アプローチしはじめた。

成果

- 病院や保健行政のスタッフを総合的母子保健アウトリーチの訓練した結果、村落で母子保健サービスを実施するための方法と手順を取得した。
- 総合的母子保健アウトリーチを行ったクアン郡の 3 村落で、妊産婦健診を受けていなかった妊産婦の 81% が妊産婦健診を受け、6 カ月未満の赤ちゃんと母親の 70% が産後検診と小児科健診を受けた。また同村落でワクチン接種が必要な 1 歳未満児がワクチン接種率が 93% に上がった。総合的母子保健アウトリーチの結果、保健医療施設へのアクセスが困難な女性や子どもたちが村で母子保健サービスを受けられるようになる。



写真／赤ちゃんのワクチン接種前にお母さんにワクチンの説明をしている郡保健局の医療者(サムヌア郡ファイテウム村)